

活躍する卒業生 | Active graduates

井上朝晶 | いのうえ・ともあき

味の素株式会社 バイオ&ファインケミカル事業部川崎工場製造部アミノ酸2課第2係



井上朝晶

—
2022年度
大学院工学科学研究科
博士前期課程
応用生物学専攻 修了



仕事の様子



卒業式の様子

生物学を学ぶために工織大へ

私は小さいころから自然科学に対して強い関心を持っていました。そのため、大学では生物学について勉強したいと思い、理系の単科大学である京都工芸繊維大学を志望しました。

入学当初は蚕を活用した繊維学に興味がありましたが、学生生活の中で、生化学やバイオテクノロジーに関する授業を受け、よりミクロな分野に興味が移っていきました。そして研究室では構造工学研究室に所属し、蛋白質の構造解析に取り組みました。研究室生活では、酵素がどのようなメカニズムで酵素反応を触媒しているのかを解明するべく、大型放射光施設SPRING-8にて実験を行いました。外部の研究施設に赴き、夜通し研究データを取ったことは今でも強く印象に残っています。京都工芸繊維大学で学んだバイオ技術に関する知見や研究技術を現在直接的に活用できる場面は少ないですが、在学中に培った課題解決へのアプローチやプロジェクトの先行きを見通す力は、現在も仕事や私生活で多方面に活用することができています。

また、学業以外にも部活動ではバレーボールに打ち込み、リーグ戦や近畿地区国立大学体育大会で良い結果を残すべく、チームメイトと切磋琢磨していました。研究や部活動で人と協力し、一つのことを成し遂げるために努力した経験は、会社という組織で働く上で、良好な人間関係の構築や円滑な業務の遂行に非常に役立っています。

人々の健康に貢献できる仕事

就職活動では「人々の健康寿命に貢献できるか?」という軸を持って、食品業界を中心にエントリーをしました。その中で私は、社会課題に対し新しい価値を創造し、食にとどまることなくライフサポートやヘルスケアといったアミノサイエンスにおいても多くの人の健康に貢献してい

る味の素株式会社に入社を決めました。

現在は工場での生産オペレーターとして勤務し、DOPAをはじめとする医薬原薬としてのアミノ酸製造に携わっています。医薬原薬の生産には高い品質基準が求められ、高品質の製品を安定して供給するためにも、高度なオペレーション技術が必要とされています。私は製造現場の最前線で、品質を守る業務に日々勤めています。自身の作った製品が患者様に届くことで、一人でも多くの人々がより健康でより長く生活できることがやりがいであり、将来への希望でもあります。

人との交流を大切にしてほしい

京都工芸繊維大学で学生生活を過ごす中で、研究、部活動、就職活動等を通して、多くの方々に関わらせていただきました。その中で自分に影響を与えてくれた存在は数知れません。

私は京都工芸繊維大学で大小さまざまな経験をし、たくさんの人と関わったおかげで今の自分があると感じています。友人や先生方をはじめたくさんの方とのコミュニケーションを通じて、自分の長所や短所を見つけ、自分でできることや人に頼るべきことが明確になったことで、6年間という限られた時間を満身に過ごすことができました。時には成果が伴わず思うようにいかないこともありましたが、これを乗り越えることができたのも周囲のたくさんの支えがあったからだと思います。

今後、大学受験や就職活動を控えている方々にはぜひ多くの人々との交流を大切にしてほしいと思います。一人で成し得ることは限られており、より大きな成果を創り出すためには、他者とのコミュニケーションが不可欠であると私は考えています。多くの方々とつながりを持って、周囲からの支えを実感し、大切にしてほしいと思います。

たくさんの人と関わり、支えられながら
研究や部活動に打ち込んだ経験が今に生きている。